

授業科目 臨床生理学実習 I

【担当教員名】  生駒 俊和		対象学年	3	対象学科	臨床
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	45
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	○	○	◎	
【概要・一般目標：GI0】 臨床生理学 I の知識を基礎に、循環器検査法について技術と心得を習得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
1. 生理検査の心得を説明できる。 2. 心電図検査を実施できる。 3. 心電図の判読の流れを説明できる。 4. 負荷心電図の波形の変化と注意点を説明できる。 5. 心電図検査法を説明できる。 6. 心臓超音波装置を操作できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1-4 5-7 8-12 13-16 17-23	心電図検査 1 心電図の記録と整理 心電図検査 2 負荷心電図 心電図検査 3 心電図の判読 心臓超音波検査			1, 2 4 3 5 6	講義・実習 講義・実習 講義・実習 講義・実習 講義・実習
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)	臨床検査学講座 生理機能検査学 第3版	大久保 善朗 他	医歯薬出版	2010・6,930円	
参考書	臨床工学講座 生体計測装置学	石原 謙	医歯薬出版	2010・4,830円・2010年3月	
その他の資料	資料配布				
【評価方法】 レポート(40%)、定期試験(60%)		【履修上の留意点】 臨床生理学 I で学んだことをしっかりと認識して実習に臨むこと。実習の心得、態度、礼儀、服装に乱れがなく、積極的に実習に取り組むこと。全ての実習項目に出席し、かつ全てのレポートを提出することが単位修得の条件である。			